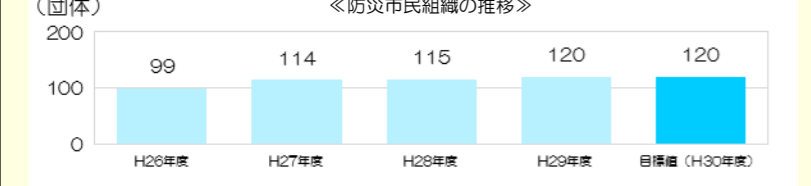


施策の方向

〇市内にいるすべての人の生命・身体・財産を災害の脅威から守るため、減災対策の充実、災害時の対応能力の強化及び復旧復興体制の整備について、自助・共助・公助の考えの下、個人、地域、事業者、行政のそれぞれの役割に応じた取組を推進します。

これまでの主な取組成果

〇地域の防災体制づくり
・防災市民組織については、結成支援の促進により、防災市民組織の団体数が120団体に増加
〈防災市民組織の推移〉



・調布市避難行動要支援者避難支援プランに基づき、自治会やマンション管理組合等と協定を締結 (平成29年度末 28団体)
・平成24年度から、毎年4月の第4土曜日を防災教育の日とし、学校関係者をはじめ、地域の方と連携し、避難所開設などの防災訓練を実施。
〈防災教育の日の様子〉
平成30年度の参加者数は、過去最高の3万933人



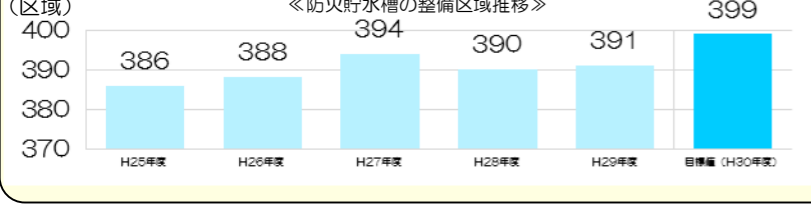
〇避難所運営マニュアルの作成促進
・各避難所における共同生活を円滑に営むため、避難所での生活ルール等を定めた避難所運営マニュアルを地域の方々と協働で作成

〇防災備蓄品の確保・充実
・災害対応資機材の充実に向け、小学校に2基目となる備蓄コンテナを計画的に配備したほか、マンホールトイレや発電機など防災備蓄品の充実を図った。

〇災害に強い都市基盤の整備
・耐震改修法の改正等を踏まえ、調布市耐震改修計画を改定し、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進した。
・調布市橋りょう長寿命化計画や調布市下水道総合地震対策計画に基づき、橋りょうの耐震改修、下水道施設の震災対策強化を図った。

〇災害時における広域的連携
・過去の自然災害等の教訓を踏まえ、同時被災のおそれが少ない岐阜県岐阜市、富山県富山市岩手県遠野市と相互応援協定を締結

〇消防力の強化
・消火栓・防火貯水槽を計画的に整備したほか、消防団の円滑な運営を図るため、消防団員装備品等の充実に努めた。



新たな対応課題、継続的な対応課題等

- ★自助・共助の取組の推進による地域の防災体制づくり
- 避難行動要支援者対策の推進 □避難所運営・緊急医療救護体制の充実
- 特定緊急輸送道路沿道建築物・住宅の耐震化促進
- 橋りょうや下水道などの老朽化対策 (インフラマネジメント)
- ★空き家対策 □受援体制の整備
- 減災対策の推進・強化 □風水害への対策 (西日本豪雨、降雹など)

次期計画4年間のポイント

〇近年の地震や風水害や過去の教訓を踏まえた防災・減災対策の強化に取り組む中で、自助の意識の一層の醸成を図りながら、共助、公助とも連携し、ソフト・ハード対策の充実を図る。
〇災害時における実践的な協力関係の構築に向け、災害時相互応援協定締結自治体との平常時から連携を図るほか、災害時における他団体などからの支援の受入れに関する体制整備を進める。
〇延焼遮断帯の形成、緊急輸送道路の機能確保、住宅の耐震化など防災都市づくりを進めるとともに、道路や橋りょう、下水道などのインフラマネジメントを計画的に進める。

基本的取組の内容

01-1 防災体制の充実

- ◇地域等と連携した要支援者支援体制の構築
 - ・避難行動要支援者避難支援プランの推進
- ◇関係機関・事業者等との連携体制強化
 - ・災害時における他団体などからの支援の受入れに関する体制を整備
- ◆避難所運営、緊急医療救護所、避難勧告等の円滑な実施に係るソフト対策の強化
 - ・要支援者や女性などの視点を踏まえた適切な各種訓練の実施

- ◆備蓄資機材の確保・充実による災害対応能力の向上
 - ・調布市地域防災計画に則した防災備蓄品の充実・確保
- ◇自助・共助の取組の推進による地域の防災体制づくり
 - ・防災教育の日など、市民や地域の方々と連携した自助、共助の取組を推進

- ◇情報伝達能力の向上
 - ・防災行政無線のデジタル化

< 基本計画事業候補 >

- 〇防災市民組織の育成
- 〇調布市避難行動要支援者災害時要援護者避難支援プランの推進
- 〇防災備蓄品の確保・充実
- 〇災害情報システムの維持管理・充実
- 〇緊急時の水の確保 など

01-2 災害に強い都市基盤の整備

- ◇特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化
 - ・震災時における復旧・復興の輸送経路となる特定緊急輸送道路に面した沿道建築物の耐震化促進
- ◇橋りょう・下水道などの耐震化の推進
 - ・橋りょうの計画的な補修工事
 - ・下水道の耐震化工事や老朽化した管路の更新
- ◆災害対応能力向上にも資する都市基盤の整備
 - ・都市計画道路などの都市基盤の整備

- < 基本計画事業候補 >
 - 〇特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
 - 〇下水道施設の地震対策の推進 など

01-3 消防力の強化

- ◇消防施設の適切な整備、管理の推進
 - ・消火栓・防火貯水槽などの消防水利施設を計画的に更新
- ◇消防団の円滑な運営と対応能力の向上
 - ・消防団の円滑な運営を図るため、消防団員の確保に努めるとともに、消防団装備品等の充実

< 基本計画事業候補 >

- 〇消防水利の整備・維持管理
- 〇消防団の対応能力の向上 など

参加と協働の視点

- 多様な主体との連携
- ・関係機関や広域連携自治体等の支援を要する災害時特有の業務を適切に実施するための体制整備
- ・災害時緊急医療救護所や避難所における保健・衛生活動のための、医師会等の関係機関とのマニュアルの検証や訓練の実施